

- 1 日時 平成30年11月16日（金）午前10時～11時10分
- 2 場所 田井小学校校舎
- 3 出席者 公有地利活用推進課 次長兼課長、課長補佐、係長、係員 1 名
地域消防課 課長、係員 1 名
危機管理課 課長、係員 1 名
教育総務課 課長、係長
- 4 参加者 16名

5 内 容

（１）取りまとめ結果

庁内、民間事業者及び市民の皆様の要望などから出た利活用案の取りまとめ結果について、別紙 6、9 を用いて説明した。

（２）質疑・意見交換（●：参加者、○：市）

[田井小について]

- 地域住民が運営する里山わんぱく館の提案をしている。秀峰筑波義務教育学校にも児童クラブが整備されたが、室内管理になってしまっている。ここでは自然体験を提供したいと考えている。昔の遊びを知っており、まだまだ元気な団塊の世代の方々に協力いただき運営をしたい。プレイパークについては全国各地で先例があり、自治体の関わりとして、場所の提供や人件費の負担、施設の管理等の協力が挙げられる。親子連れや高齢者も集まれる場所も併設したい。市にも協力願いたい。
- 地域利用を進めるにも維持管理費負担等の協議が必要な部分もある。赤道の整理や地域へ貸し出す方法など、今後検討を進めていきたい。このような地域利用について、他の方の意見を聞きたい。
- 地域で利用していくことには、賛成である。維持費の問題については。民間企業の協力も必要ではないか。
- 活動を維持・継続していくためには、民間活力の導入も大切である。
- 幸いこの地域には、周辺の田畑や自然を利用して、環境フォーラムや自然生クラブが活動している。自然体験と共通する部分もあり、協力体制を作っていける可能性がある。

- 田井小学校区に限った話ではないが、各地区高齢化している。高齢者地域サロンや介護予防施設を整備するつもりはないとあるが、市は更地にしたいのか。また道路は、バスが入ってくるのも難しいほど狭いが、基礎インフラ等の整備をする気はあるのか。
→○担当課の意見は、サロン事業は出前事業により地域に出向いて実施しており、学校跡地を利用した拠点整備は行わないというものである。市の公共施設の維持を考えた際、財政部門は、市の将来負担を見越して財政負担を減らしたい考え方もおそらく持っていると思う。
- サロンや地域図書館など、高齢者が集まれる場所があると介護予防にも繋がる。検討していただきたい。
- 管理は教育局が引き続き行うのか。利活用を進めるうえで、支障はないのか。
→○地域利用を行う際は、普通財産に移行する必要があると考えている。測量が必要だが、数か月の作業であり、それほど時間はかからないと思う。
- 消防支団の詰所兼車庫の場所は、全体の再利用が決まらなないと使えないのか。
→○市としては、全体利用の決定を待つのではなく、場所を早々に決め、必要な段階で詰所が移転出来るよう整理を進めていきたいと考えている。
→●現在の場所から、早く移転してほしい。
- 筑波山麓秋祭りで利用していた神郡駐車場がなくなってしまった。年数回の利用だが、学校跡地を利用したい。
→○新たな場所が決まり、市の観光推進課で整備すると聞いている。
- 消防支団の詰所兼車庫としての利用の際には、道路拡幅等の整備も一緒に検討しているのか、そうなれば中型バスなども入って来やすくなり、プレイパーク利用者の利便性も上がる。
→○どの学校も徒歩による来校を前提としていた部分もあり、進入路は狭く大変。拡幅も民家に囲まれている状況であり、難しいと考えている。
- 未耐震建築物の解体費用はどれぐらいかかるのか。
→○具体的に積算したわけではないが、数千万はかかるかと想定される。

●耐震補強はしてもらえるのか。個人的に家庭科室を使用した料理教室や乳幼児学級を一クラス利用して行いたい。

→○耐震補強は、施設全体を継続的に利用していく場合は、実施する。耐震補強にも数千万の費用がかかることが想定され、一クラスを利用する活用程度では、実施の判断は難しいと考えている。

●市が統廃合を決めて廃校にしておきながら、今さら地域で利用する提案はないかと聞きにくるのは無責任である。市が各小学校の特徴を活かして、市としての活用提案を出してもらいたい。

→○現状、庁内各部署に市としての利活用案を調査かけたところ、詰所と投票所の意見のみであるが、詰所については、概ね了解を得られたということで話を進めていきたい。

●高齢化が進んでいるので、福祉的な機能と避難所としての機能を検討してもらいたい。

→○災害の状況に応じて、建物内部に避難する可能性ももちろんあるが、避難の際は、まずはグラウンド等に集まり安否確認が第一である。指定避難所としての機能は継続していく。

●いつまでに跡地活用を決定していくのか。

→○公的活用や地域の利活用など、意見交換を実施しながら、地域の了解が得られるところから順次進めていきたいと考えており、いつまでに結論を出すというスケジュールは決めていない。

○引き続き、跡地利活用の検討にあたっては、地域との意見交換を実施していく。区長の方々には、引き続きご協力をお願いしたい。

(3) 閉会